

きらこの"eye"

きのとひつじどし  
平成27年乙未年  
下総三山の七年祭り

九社が寄り合う安産子育て祈願の大祭七年祭りが今年の今年執り行われる。丑年と未年の六年ごと、数えで七年ごとに行われることからそう呼ばれる。ちなみに、勇壮な木おろしで知られる諏訪大社の御柱祭も数えの七年ごとで、寅と申の年。次回は来年、行われる。



▲9月に小祭りを行い、11月に神揃場から8社を迎える二宮神社。

リニューアルOPEN! KIRACOコラム登場  
店舗情報・イベント情報満載!  
「ショップランドならしの」検索

只今  
加盟店募集中!  
年会費  
¥12,000-



<http://www.shopland-n.com>

お問合せ 習志野市商店会連合会 電話047-455-1955  
習志野市津田沼5-12-12サンロードビル6階 FAX047-455-1956

心に残る一冊を。ビジネスに役立つ一冊を。  
きらこ編集室がお手伝いします。

自費出版  
(写真集・画集・自分史・  
記録集etc)

会社案内  
社内報  
カタログetc

既刊  
刺しゅう作品「花に包まれて」  
絵てがみ「十和田路」  
短歌・俳句・川柳  
画集「高谷京子作品集」



お申し込み・お問い合わせは (有)きらこ編集室 TEL/FAX 047-454-8481  
〒275-0022 習志野市香澄4-3-10-1

まちが好き ひとが好き KIRACO (きらこ) 2015年9・10月号

目次

平成27年未年	2
下総三山の七年祭り	2
こんには 子育てママが楽しめる	2
癒やしの場 Cometクラブ	8
楽しみ方いろいろ谷津干潟	10
一鶴遺産 田辺鶴遊	12
いいでしょ。これ!	13
根ほり葉ほり	13
私のスローライフ農業 佐藤捨吉	14
ウエディングプランナー全国大会で	14
千葉県の二人がW受賞	16
死語の世界	18
わたたくし欲深人間です	20
七つの娘 (13) 松柴文子	22
好きです この店	24
湊町暮らし 大野一敏	26
オービックシーガルス通信	28
女の四季 (6) 吉成庸子	30
インフォメーション	32
ふなばし演劇鑑賞会	40
真鳴ひろみのお料理大好き	42
エッセイ 中田芳子	44
雑記帳	46
表紙	
進さんから頂いたお花	
高谷京子	

# 下総三山の七年祭り

平成 27 年未年

丑年と未年に行われる「下総三山の七年祭り」は船橋市(2神社)、千葉市(3神社)、八千代市(2神社)、習志野市(2神社)の4市9神社が参加する寄合祭りです。その起源は室町時代とも平安・鎌倉時代とも伝えられ、平成16年に「千葉県指定無形民俗文化財」になっています。

小祭、大祭、磯出祭、花流しとつづく七年祭りを楽しむための平成27年未年版ガイドです。

取材協力/二宮神社

## 参加する九社の役割

菊田神社 叔父

(習志野市津田沼)

弘仁年間(810~824)の創建と伝えられる。古くは久々田(くくた)大明神と称された。祭神は、大国主命(おおくにぬしのみこと)、藤原時平(おおくにぬしのみこと)、藤原時平。大祭の際には二宮の叔父役を務め、神揃場への入場や二宮神社への昇殿参拝時に9社の先陣を切る。

二宮神社 父

(船橋市三山)

弘仁年間(810~824)の創建と伝えられる。祭神は建速須佐之男命(たけはやすさのおのみこと)、櫛稲田比売命(くしなだひめのみこと)、大国主命(おおくにぬしのみこと)、藤原時平(ふじわらときひら)命、大雀原時平(おおくにぬしのみこと)、藤原時平(おおさぎのみこと)、菅田別命(ほんだわけのみこと)。大祭での役割は父(夫)。大祭の年の9月に一社で小祭を行う。10月31日、11月1日、2日の大祭では鷺沼で禊(みそぎ)式を行い、8社を神揃場(かみそろいば)、二宮神社に迎える。また、翌朝の磯出式(いそでしき)に参加する。社殿は船橋市指定有形文化財、神楽は同市指定無形民俗文化財。

八王子神社 末子

(船橋市古和釜町)

大同2年(807)の創建と伝えられる。摂津国八王子神社(大阪市東成区)が総本社とされる。祭神は天之忍穗耳命(あまのおしほみのみこと)、豊受姫命(とようけびめのみこと)、天照大神(あまてらすおおみかみ)、倉稲魂命(うかのみたまのみこと)、猿田彦尊(さるたひこのかみ)。9社の中で最も北(内陸)に位置し、大祭の際には二宮の末っ子役を務める。

高津比咩神社 娘

(八千代市高津)

明応元年(1492)の創建と伝えられる。祭神は、多岐都比売命(たぎつひめのみこと)、大己貴尊(おおなむちのみこと)、木花之開耶比売命(このはのさくやひめのみこと)、北斗北辰(ほくとほくしん)、間宮庄五郎源高秀(まみやしようごろうみなもとのたかひで)。大祭では二宮の娘を務める。未婚のため神輿に安産の印である晒を巻くことをしない。

大宮大原神社 叔母

(習志野市実籾)

文禄元年(1592)の創建と伝えられる。もとは大原神社とよばれていたが、明治41年(1908)に実籾本郷にあつた大宮神社(天治元年(1124)創祀)を合祀したため現在の社名となった。祭神は、伊弉諾尊(いざなぎのみこと)、伊弉冉尊(いざなみのみこと)。大祭の際は二宮の叔母役を務める。

子安神社 母

(千葉市花見川区畑町)

延暦年間(782~806)の創建と伝えられ、また、建久4年(1193)の棟札が残されている。祭神は奇稲田姫命(くしなだひめのみこと)。大祭では母(妻)役を務め、翌朝の磯出式に参加する。また稚児行列があり、神輿に先立って神揃場に到着し、二宮神社に昇殿する。

子守神社 子守

(千葉市花見川区幕張町)

建久5年(1194)の創建と伝えられ、古くは素加天王社(すがてんのうしや)と称された。永正5年(1508)、現在地に奉遷されたという。祭神は、奇稲田姫命(くしなだひめのみこと)、素盞鳴尊(すさのおのみこと)、大己貴尊(おおなむちのみこと)。大祭では子守役を務める。祭りの起源となる伝承の安産の地にあり、産屋の神事である磯出式では会場と神事を取り仕切る。

時平神社 長男

(八千代市大和田・八千代市萱田町)

氏子が二つの地区に分かれ、それぞれに時平神社がある。大和田の時平神社は慶長5年(1610)、萱田町の時平神社は元和元年(1615)の創建、祭神は藤原時平命。大祭の際は二宮の長男役を務める。また、大和田(上組)は山車を、萱田町(下組)は神輿を受け持つ。

三代王神社 産婆

(千葉市花見川区武石町)

建仁2年(1202)に明神神社として創祀されたと伝えられるが、創建年代は不詳である。神輿は天保年間(1830~1844)に作られたものである。祭神は、天種子命(あまたねのみこと)。大祭の際は産婆役を務め、翌朝の磯出式に参加する。

下総三山の七年祭りは  
小祭、大祭、花流しの順で  
七年祭りは9月に行われる「小祭」  
に始まります。

小祭は9月12日の「勢揃い」と13日  
の「湯立祭（ゆたてさい）」。  
小祭は二宮神社のみで行われ、湯立  
祭の名称は、昔、湯立神楽で神がかり  
した神職が大祭の執行の日取りを決め  
たことによるといわれています。

湯立祭前日の「勢揃い」では氏子た  
ちが神揃場に集まり、二宮神社に向か  
い昇夫（かきふ）神輿の担ぎ手）、役  
員の安全祈願をします。

「湯立祭」は山車や神とともに神輿が  
一日かけて三山町内を練り歩きます。  
神輿を担ぐのは大祭で裏方に徹する  
三山の「寅待会」です。

この日、神楽殿では「二宮神社の神  
楽」が舞われ、町内を渡御して帰っ  
てくる一行を迎えます。

平成27年大祭

大祭は

禊式（みそぎしき） 10月31日

安産御礼大祭 11月1日

磯出祭、神之台の神事 11月2日

禊式は各神社からの一行を迎えるた  
めに、三山の人たちが二宮神社から習  
志野市の旧鷺沼海岸にある禊式場に向  
かい、身を清めます。

安産御礼大祭は、無事出産できたこ  
とを盛大に祝う行事で、それぞれの  
コースを渡御してきた神輿が神揃場に  
ずらりと勢揃いします。

神揃場は神事のあると同時に、  
各神社にとっては神輿行列のお披露目  
の場にもなっています。

ここから二宮神社へ向かってつぎつ  
ぎに神輿が担ぎ出されていきます。

（渡御予定時刻は下の表  
コースは次のページに）

二宮神社七年大祭 平成27年11月1日

神輿渡御予定時刻および昇殿予定時刻表

神社名	子安神社 (稚児)	菊田神社 (津田沼)	八王子神社 (古和金)	高津比咩神社 (高津)	時平神社 (大和田 萱田町)	大宮大原神社 (美初)	三代王神社 (武石)	子安神社 (畑)	子守神社 (幕張)	二宮神社 (三山)
時間 出迎場所	給水所 10:30	日大正門前 11:00	第一駐車場 10:00	岩井三男宅先 9:50	自衛隊裏門 10:00	旧警察署前 12:00	給水場 12:30	給水場 14:00	給水場 14:30	二宮神社発 10:30
時間 休憩場所	三山博通宅 11:30	岩井三男宅先 10:00 将司悦央宅 11:00	臣司栄一宅他 10:30	岩井三男宅先 10:00 将司悦央宅 11:00	土橋省三宅他 11:00	すずらん幼稚園 12:40	小川利之宅 13:00			三橋渡宅 10:50
時間 神揃場 出発時刻	11:00	12:50	13:10	13:30	13:50	14:10	14:30	14:50	15:10	12:30
時間 休憩場所	三山博通宅 11:30									将司悦央宅 12:50
時間 昇殿時刻	12:30	13:40	14:10	14:40	15:10	15:40	16:10	16:40	17:10	二宮神社着 13:30
時間 帰路場所	第一駐車場 13:30	中央商店街 經由給水場 15:00	第一駐車場 15:00	第一駐車場 15:00	第一駐車場 16:00	第四駐車場 16:40	第四駐車場 17:10	第一駐車場 17:30	給水場 18:20	

湯立祭 御神輿渡御順路行程図

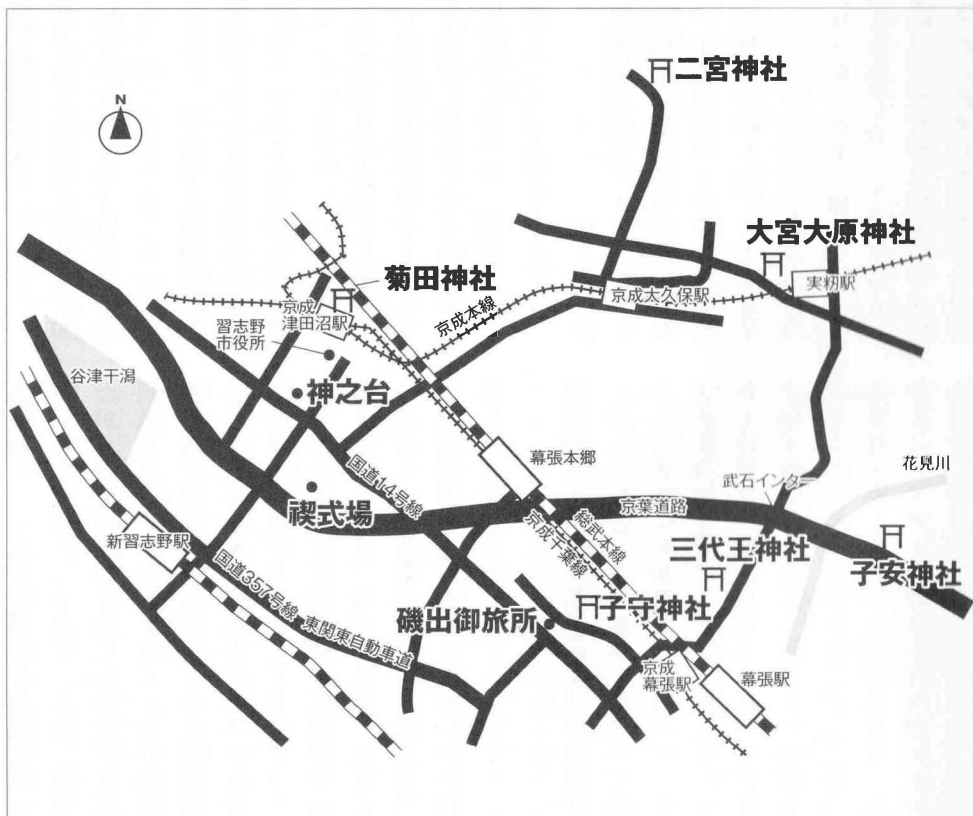


- 御神酒所  
 第①神酒所  
 第②神酒所  
 第③神酒所  
 第④神酒所  
 第⑤神酒所  
 第⑥神酒所  
 第⑦神酒所  
 第⑧神揃場  
 大休止  
 第⑨神酒所  
 第⑩神輿点検  
 第⑪神酒所  
 第⑫神酒所

「機出祭」は安全を祈願する行事で、11月2日の未明、二宮神社、子安神社、子守神社、三代王神社が参加して、幕張1丁目の機出御旅所で行われます。満潮の時刻になると幼い男女がハマグリの交換をする「産屋（うぶや）の神事」が行われ、その後、二宮神社の神輿と子安神社の神輿が別れを惜しむ「別れの儀式」で神事は終わります。前日の安産御礼大祭のあとに安産祈願の機出祭が行われるので、「三山の祭り、後が先」と言われています。

二宮神社の神輿だけはそのまま、習志野市津田沼の神之台へ。ここは火の口台とも呼ばれ、市原の姉崎（あねさき）神社に向けて祭りの終了を知らせるのろしをあげた場所と伝えられています。

**花流し（花回し）**  
参加した九社がそれぞれの地域でくまなく神輿渡御します。



安産御礼大祭 11月2日  
神揃場から二宮神社までの  
神輿渡御コース

**七曲り**  
神揃場を出た神輿行列は旧道の七曲りを通って二宮神社へ。二宮神社の神輿だけは東側の路地へ入り、境内に入ると御仮屋に安置され、八社の神輿の昇殿を見守ります。

二宮神社社殿

